

IMPULSE 通信



パナソニックにあるスポーツチーム

持ち味は陸上仕込みのスピード!!

～駆ける!ぶつかる!! 人一倍アメフトを愛する戦士～



56 HIROTOSHI KANZUI

足を活かしたポジションからスタートして体格や技術に合わせてQB以外を経験したという。その経験から味方ならどうして欲しいか、敵ならどうされると嫌かを察知して先に仕掛けるというスピードと頭脳プレーが持ち味の選手だ。



自分からアクティブに仕事を作っていく提案型業務。入社以来、ずっとこの部署にいるという潤隆さん。異動で周りの人たちが変わってもアメフトへの理解は変わらず、練習には必ず行けるように協力してくれるという。「本当に感謝しています!!」

Profile

潤隆 浩俊 (かんずい ひろとし) 180cm / 110kg

ポジション DL (ディフェンスライン)

出身大学 関西大学

部署名 パナソニック株式会社 デバイス社 経理センター

制御機器BU経理グループ 経営管理チーム

オフの過ごし方：新婚なので、妻と映画に行ったりドライブしたりアクティブなデートをしています。

好きな女性のタイプ：美人で家庭的な女性。

意外な一面：実は寂しがりやです。

生まれ変わったら何になりたい?：“自分”です。健康に育ててもらった両親に感謝しています。あと、高校からアメフト中心の生活だったんで…全然違う道に行ってみたい気もします。

尊敬する人：三浦和良選手です。彼の著書を読んで、サッカーに対する取り組み、考え方、現役を続けることのこだわりが自分の考えととてもリンクしました。

アピールポイント：選手としてはスピードです。自分の持ち味だと思っています。トレーニングや食事などアメフトへの日々の取り組みだけは誰にも負けません!!

好きな言葉・座右の銘：“努力でできることは才能である”努力は才能を上回るとい言葉も好きです。
 地元のオススメのお店：守口市駅前にある“A.T長島治療院”。そこで紹介してもらったカフェ&ビア“ミカサ”。こちらの魚料理は絶品!!安くて新鮮で僕を育ててくれた家庭の味です。そしてその裏にある“ヘアプランニング”。この辺りの出勤率高いです。



INFORMATION (試合日程)

【公式戦】グリーンボウルトーナメント

5月20日(日) 決勝戦 @王子スタジアム

【交流戦】

6月10日(日) 神戸パウル vs 関西学院大学 @王子スタジアム

多くの方のご来場、ご声援お待ちしております!! Go! IMPULSE!!

他ポジションの経験を活かして仕掛けるDLは陸上部で鍛えた俊足の持ち主。

パナソニックがバックアップするアメリカカンファドボールチーム『パナソニックインパルス』。選手全員が社員として一般社員と同じ条件で勤務し、門真にある練習場で日々技を磨く。文武両道を実践するチームだ。

同じポジション一筋という選手が多いチーム内で、中学時代に陸上部で鍛えたスピードとアメフトを始めた高校時代からQB(クォーターバック)以外のポジションを経験して得た感覚が武器という選手がいる。DL(ディフェンスライン)の潤隆さんだ。

会社では携帯電話や車の中の小さな部品などの制御機器を扱う部門の営業経理の仕事に就いている。いわゆる伝票処理は少なく経営者の補佐役として収支を分析、費用や業務効率の削減などを提案して黒字になるように仕掛けていく仕事だ。「自分から動いて仕事を作る提案型の業務です。調整しやすいですが周りの人たちに助けてもらっているのが本当に感謝しています」

『1日でも長く現役を続けるために』人一倍自己管理を行い練習を欠かさない。

「DLは、守りの一番前のポジションです。攻めには走るとボールを投げる2通りあってそれを阻止するのがDLです。自分の前の敵をかましてボールを持つている選手にタックルするのとが役目。だから事前に敵の癖を研究して常に先に仕掛けることを心がけています。このポジションにしては体が小さいという潤隆さんは、その分トレーニングや栄養管理を厳しく行っている。必要な栄養量を熟知し、食品のタンパク質量等の表示を見て少なければ口にしないほど徹底している。昨年結婚した奥様は当初アメフトの名前だけは知っているという程度だったが、勉強して一生懸命サポートしてくれているそうだ。今の自分があるのは奥様のおかげだと潤隆さんは話す。仕事の日は夕食だけになるが、肉と魚の両方とサラダは必須で、工夫して用意してくれる。

「美味しいですよ!本当に感謝しているので、今年こそ東京ドームに連れて行って、その気持ちを『日本一』という結果で表したいです!」

アメフトを知ってもらいたい!レベルをあげたい!子どもたちに広めたい!

ルールが難しいと言われるアメフト。まずゲームを見ておもしろさを知ってもらいたいと潤隆さんは言う。「リアリーターの応援も見所です。ぶつかる音や走るスピードなど臨場感を感じてもらうことでストレス発散にもなります」初心者はボールを追うと良いと教えてくれた。攻める側は敵に分からないように隠したりするのだ。

そして、潤隆さんが現役を続けることにこだわることには理由がある。「自分は本当にアメフトが好きです。もっと普及させたい!」インパルスでは子どもたちにアメフトの良さを知って欲しいとアメフト教室やフラッグ教室などを行っている。子どもは正直だ。もっと学びたい。もっとうまくになりたい!と目が輝くのは昔活躍した人だけではなく、現役選手にこそだ。「だから少しでも長く現役を続けたいんです!」チームの勝利と日本のアメフトのレベルアップを目指す潤隆さんの活躍に注目しよう!